

# 置賜 MAP



## アクセス

福島	山形新幹線 (35分)	米沢	(10分)	高島	(5分)	赤湯
	国道13号線 (60分)	米沢		国道287号線 (45分)		長井
仙台	仙山線(快速:75分)	山形		赤湯		米沢
	高速バス(仙台山形60分)	山形		国道13号線(70分)		
	東北新幹線(30分)	福島		山形新幹線(35分)		
	高速バス(120分)	福島				
会津若松	国道121号線 (30分)	喜多方	国道121号線 (60分)	米沢	国道13号線 (30分)	南陽
				米沢	国道287号線 (45分)	長井

## 発行

### 山形おきたま観光協議会

山形県米沢市金池7-1-50 置賜総合支庁観光振興室内

問い合わせ 0238-26-6046 休日/土・日・祝日

<http://oki-tama.jp/>

協賛 やまがた観光キャンペーン推進協議会

2013.1

2013  
山形

# おきたま雛廊



## 時を紡ぐ愛らしき雛人形

置賜地域には、米沢藩の藩士が江戸勤務を終えて戻ってくる際に、家族へのお土産として買い求めてきたお雛様が残っており、各地で古くから伝わるお雛様の数々をご覧ください。

内裏雛と雛壇を飾り、雛菓子や桃の花を添えて、今年も雛たちは、雪舞い降りる二月から各展示会場やお店でその優雅な微笑みを見せ、春待つ心を映しだします。

### 目次

時代を映し出す雛人形	2
特別企画「わたしもおひなさま」	3
<b>展示施設</b>	
酒造資料館 東光の酒蔵(米沢市)	4
出羽の織座 米澤民藝館(米沢市)	5
上杉伯爵邸(米沢市)	6
米沢市上杉博物館(米沢市)	7
株式会社白根澤(米沢市)	8
南陽市立結城豊太郎記念館(南陽市)	9
玉庭ひなめぐり(川西町)	10
白鷹のおひなさま(荒砥駅資料館・あゆ茶屋)(白鷹町)	11
山口家(長井市)	12
米沢市街地MAP	14
南陽市・川西町・白鷹町・長井市MAP	16
山形県内その他地域のお雛さま	19
アクセス	20

## 時代を映し出す雛人形

### 享保雛

享保(1716~1735)時代流行したといわれる内裏雛。男雛は兩袖を張り、太刀を差し、手に笏を持つ姿。女雛は五衣、唐衣に似せた姿で綿を入れて丸く膨らませた赤い袴。冠をかぶり檜扇を持ち、面長の気品ある静かな表情が特徴です。



所蔵：東光の酒蔵

### 古今雛

江戸時代の代表的な雛人形。明和(1764~1771)の頃、人形師・原舟月に顔を彫らせ、目にガラスや水晶などをはめ込み、写実的な顔立ち美しく艶やか。金糸、色糸などで縫いとりを施した豪華な衣裳と、近代的な容貌とが人気を得、流行しました。



所蔵：南陽市立結城豊太郎記念館

### 郷土雛・相良人形

高級な京雛や江戸雛は庶民には手に入らず、身分相応な雛人形を各地で作ったのが「郷土雛」。土人形の源流となった京の伏見人形の技法が全国に広まり、それぞれ郷土色ゆたかな土雛が生まれました。その一つである「相良人形」は、米沢藩主が藩士相良清左衛門に作らせたのが始まりです。



所蔵：上杉伯爵邸

### 次郎左衛門雛

京都の人形師・菱屋次郎左衛門が創作した雛人形。宝暦11年(1761)頃より上下階級に広く親しまれ、これまで面長だった雛に比べ、愛らしい目鼻立ちで丸い顔の愛らしさと典雅な表情で江戸の人気を集めました。



所蔵：山口家

表紙：二代目原舟月作 古今雛 (長井市 山口家所蔵)

## おきたま雛回廊特別企画 わたしもおひなさま



着物をはおれば、あつという間に可愛いお雛様に大変身！幼稚園児から小学校低学年ぐらまでのお子様を対象に、簡単に着付けができ、本格的なお雛様の姿になれる、無料体験プランです。

ぜひお子様連れて雛めぐりをお楽しみいただき、記念のお写真をお撮りください。※マイカメラでの写真撮影となります。

※ご利用の際は、あらかじめ下記各施設に電話にてご予約ください。

### 実施施設・期間

## 小桜館 長井市 2月13日(水)~2月23日(土)



明治11年に建てられた、現存するなかでは全国で二番目に古い郡役所で、市の指定文化財にもなっています。現在は地域住民の文化活動の場として利用されています。

**文教の杜ながい 小桜館**  
〒993-0085 長井市高野町 2-7-28  
TEL.0238-88-9365  
開館時間：9:00~17:00  
定休日：月曜日(祝日の場合翌日休み)  
HP <http://bunkyounomori.jimdo.com/>

### 春待ち手づくりおひな様展

おひな様を題材に一般の方から持ち寄って頂いた絵画、絵手紙、和紙人形、ぬいぐるみ、折り紙、工作などを展示。2/7には折り紙を使った「手づくりおひな様教室」(予約制)も開催。



【展示会期】 第1期 2月6日(水)~11日(月) 会場 会議室1  
第2期 2月13日(水)~28日(木) 会場 会議室2  
【時間】 いずれも午前9時~午後5時

## 上杉伯爵邸 米沢市

### 2月24日(日)~3月31日(日)



上杉伯爵邸は、上杉家当主の邸宅として明治時代に建立されました。大正9年の大火の後再建された現在の建物は、国の有形文化財に登録されている歴史的建造物です。東京浜離宮に依って造園された庭園を眺めながら、米沢牛をはじめとする郷土料理もお楽しみいただけます(詳細は6ページをご覧ください)。

米沢市

MAP  
P15-4E

酒造資料館

## 東光の酒蔵

展示期間  
平成25年  
2/3▶4/3  
(日) (水)

住所 米沢市大町二丁目3-22 入館料 一般310円、中高生210円、小学生150円  
営業時間 9:00~16:30 問合せ 0238-21-6601  
定休日 開催期間中は無休 HP <http://www.tokonosakagura.com/index.php>



「東光」の名で知られる小嶋総本店は慶長2年創業の米沢藩御用酒屋。古い酒蔵を、原型を保ちながら復元した建物の中では、昔ながらの造り酒屋の様子や造りの道具などを展示しています。



### 江戸時代の享保雛

「東光の酒蔵」では、四百余年の歴史を有する小嶋家が代々伝えられてきた雛人形を一堂に展示しています。

雛祭りの最盛期といわれる江戸時代中期や後期に作られたお雛様や、五人囃子、雛道具など複数組が揃い、優しく気品あるお顔立ちや髪飾り、衣装の柄などそれぞれ違いがあつて観る目を楽しませてくれます。趣のある建物の中の母屋には赤い毛氈の雛壇がずらりと並び、雅な雛の世界を醸し出します。



### ちょっと足をのばして

#### 松島屋菓子店 P14-1C

住所: 米沢市松が野2-3-4 ☎0238-23-0212  
開店時間: 8:30~20:00  
☆おひなさま上生菓子  
☆さくらもち、うぐいすもち



#### シンプルハンズ嵐山 P14-2A

住所: 米沢市中央4-1-80 ☎0238-23-5309  
開店時間: 9:00~18:30  
☆お酒とちいずけいきのお店  
日本酒に合う三種類のチーズケーキ販売、お店のチーズケーキに合うような純米吟醸酒の量り売りも行っています。

米沢市

MAP  
P15-4D

出羽の織座

## 米澤民藝館

展示期間  
平成25年  
3/3▶3/20  
(日) (水)

住所 米沢市門東町一丁目1-16 入館料 一般500円、小・中学生200円  
営業時間 10:00~16:00 問合せ 0238-22-8141  
定休日 開催期間中は無休 HP <http://www.4.ocn.ne.jp/~gensifu/>



平成16年10月1日に 出羽の織座 米澤民藝館 を開設いたしました。衣や布を主体とした東北では唯一の民藝館です。原始布・古代織造考館と 原始布織工房 出羽の織座 とが一体となって活動している研究参考館でもあります。



### 「享保雛展と貝合せ展」

江戸時代中期の豪華絢爛な享保雛を中心に、目にふれる機会が少ない「貝桶と貝合せ」や雛道具、装飾品、京の雅の織物などが古い佇まいに飾られ、趣の空間を堪能することができます。

### 特別展示品「浅葱色麻地菊水模様裏紅染女兒着物」

からむし(青手)は、上杉景勝公の知将・直江兼続公が特に栽培に力を注ぎ殖産に取り組んだものの一つで、この「浅葱色麻地菊水模様裏紅染女兒着物」は、表裏共にからむし地で仕立てられています。紅染のもので身をつつむことで、疫病を除くとの言い伝えがあり、濃い紅染の裏地を用いた裾は可愛い女兒の成長を願った衣装です。当館の雛祭りには必ず飾る衣装の一つです。



### ちょっと足をのばして

#### 米沢牛・山懐料理 吉亭 P15-3E

住所: 米沢市門東町1-3-46 ☎0238-23-1128  
開店時間: 11:30~15:00 17:00~21:00  
☆[米澤御膳] 3,675円 <要予約>  
提供期間 H25年2月12日~3月31日  
女性向けに旬の食材をアレンジしており、春を感じられるような桃の膳です。



#### 米沢織 織元の店 織絵夢人館

P14-2E  
住所: 米沢市城南2丁目3-88 ☎0238-24-5945  
開店時間: 9:30~17:30  
☆幸福とおひなさま掛軸展  
あでやかな桃の節句飾りをご覧ください。(無料)  
■刺繍工おひなさま作り・紅花染体験(要予約・有料)  
好評の幸福や紅花軸小物などお買い物も楽しめます。

米沢市

MAP  
P14-2D

## 上杉伯爵邸 (上杉記念館)

展示期間  
平成25年  
2/3 ▶ 4/3  
(日) (水)

住所 米沢市丸の内一丁目3-60  
営業時間 10:00~17:00  
定休日 水曜日(4月3日は営業いたします)

入館料 無料  
問合せ 0238-21-5121  
HP <http://hakusyakutei.jp/>



上杉伯爵邸は、明治29年、元米沢城二の丸跡に上杉家14代茂憲(もちのり)伯爵邸として建てられました。当時は敷地約5,000坪、建坪530坪という壮大な大邸宅でした。しかし、大正8年米沢大火で焼失。大正14年に、桐板葺き、総ヒノキの入母屋づくりの建物と、東京浜離宮に依って造園された庭園が完成いたしました。設計者は中修精一郎、施工は名棟梁江部宗蔵による作品です。かつて、鶴鳴館(かくめいかん)と称され、皇族の御宿所ともなった、文化的価値のある邸です。

### 創作雛

風土が育む匠たちの雛人形には、人形の心が表現豊かに表現され、限りない愛情を込めて作り上げたものばかりです。土人形、木彫り雛、紙雛、立雛、吊り飾りなどたくさんの個性豊かな創作雛の数々を展示しています。



### 期間中のイベント

#### 「ひな膳とひいな茶」

雛祭りに合わせたメニューで、雛を囲みながらゆっくりお食事やお抹茶も楽しめます。特にひな膳やひいな茶は「雛めぐり味」として是非味わって頂きたい逸品です。

ひな膳の提供は3月3日(日)まで  
ひな膳 2,100円 ひいな茶750円

#### 「おひなさま茶会」

お茶の文化を身近に感じ、お抹茶を楽しみながらお茶の作法を学びます。お茶会の後には、古今雛を前に上杉伯爵邸の「会席ひな弁当」でひな祭りを楽しみます。親子での参加でも、初心者の方どなたでも参加できます。(要予約)

日時:2月24日(日)11:00~お茶会  
12:00~お食事会  
会費:お一人様 2,000円(税込)

### ちょっと足をのぼして

#### 大黒屋餅店 P14-1C

住所:米沢市松が峰2-1-1 ☎0238-23-1788  
開店時間:8:00~18:00  
☆あんびん、栗まんじゅう、ほうさい餅



#### 虎屋菓子店 P14-2C

住所:米沢市丸の内1-1-78 ☎0238-23-1151  
開店時間:8:30~18:30  
☆お雛様上生菓子  
☆黒糖まんじゅう  
☆和洋菓子

米沢市

MAP  
P14-2D

## 米沢市 上杉博物館

展示期間  
平成25年  
1/26 ▶ 3/21  
(土) (木)

住所 米沢市丸の内一丁目2-1  
営業時間 9:00~17:00(展示室入室は16:30まで)  
定休日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)  
問合せ 0238-26-8001  
HP <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/uesugi.htm>

入館料 (常設展) 一般 400円  
高大生 200円  
小中生 100円  
※団体割引あり



数千に及ぶ上杉氏ゆかりの貴重な品々や国宝が収蔵されています。展示室は「常設展示室」と「企画展示室」に分かれていて、常設展示室では上杉の歴史と文化を中心とした「江戸時代の置賜・米沢」を主軸に構成されています。

1月26日から3月21日までの期間中、総合案内前に享保雛等を展示するほか、多彩なイベントを開催します。

※雛人形は無料ゾーン(総合案内前)での展示です。

### 期間中のイベント

体験学習室での催し <展示期間中無料>\*2/22(金)は体験学習室はお休み

★1月26日(土)~2月21日(木) ★2月23日(土)~3月21日(木)  
季節の行事「節分」 季節の行事「桃の節供」  
造形体験「おひなだんだん」 造形体験「紙粘土で和菓子作り」

能楽堂のひなまつり「五人ばやしコンサート」&「和菓子でお能カフェ」

日時:3月3日(日) ①13:00~ ②15:00~

会場:エントランス能舞台

参加費:500円(2/4~伝国の社で発売・各回先着30名程度)

問:伝国の社0238-26-2666

### 企画展

★コレクション展「上杉家文書国宝への道—修復と紙の世界—」

修復を経て国宝指定となった上杉家文書の価値と魅力をあらためてご紹介します。

日時:2月23日(土)~3月31日(日)

料金:期間中は、コレクション展と常設展のセットがお得です。

入館料区分	一般	高大生	小中生
企画展	200円(160円)	100円(80円)	50円(40円)
常設展とセット	400円(320円)	200円(140円)	100円(60円)

( )内は20名以上の団体料金 ★休館日・企画展展示期間にご確認ください

### ちょっと足をのぼして

#### 丸十餅店 P14-1C

住所:米沢市松が峰2-1-77 ☎0238-23-0369  
開店時間:8:00~18:00  
☆ほうさい餅、田楽餅、おしるこ



#### とんぼ玉と民芸和紙 大和屋 P14-1C

住所:米沢市松が峰2-1-82 ☎0238-23-1118  
開店時間:9:00~19:00

☆1月15日~3月3日まで

「手作りお雛様」を開催

ガラスや和紙、ちりめん等の手作りのお雛様を80点以上展示販売いたします。期間中お雛様を見学の方には板茶を楽しんでいただけます。

米沢市

MAP  
P15-3A

株式会社 白根澤

展示期間  
平成25年  
3/1 ▶ 3/20  
(金) (水)

住所 米沢市中央3丁目8-20

入館料 無料

営業時間 10:00~15:00(見学希望の方は要予約)

問合せ 0238-23-0034

定休日 日曜日・祝日

HP <http://yonezawanet.jp/maruhaku/>



「(株)白根澤」は、11代で200年以上織物業を続けています。紅花染めや変わり織など、カジュアルな袖の織物を主体に生産しているメーカーです。



### 雛人形とべっこう簪(かんざし)

歴史ある券田気の中で代々受け継がれてきた享保雛や古今雛、簪(かんざし)、漆器を展示しています。同時に二階で米沢織の展示をしております。ぜひ一緒にご覧ください。



### ちょっと足をのばして

#### 永井屋菓子店 P15-3A

住所:米沢市中央4-1-16 ☎0238-23-0381  
開店時間:8:00~19:00

☆2月25日~3月4日 販売

ひなまつりケーキ、ひなロールケーキ、  
ひな上生菓子、金箔羊羹



#### らあじや P15-3A

住所:米沢市中央5-3-17 ☎0238-24-5025  
開店時間:11:30~14:30

☆米沢牛のスープカレー

ちょっとだけ米沢牛を食べてみたい方  
お気軽な牛串2本をトッピング!

☆鷹山公のかてものカレー

米沢を飢饉から救った上杉鷹山公の  
「かてもの」を現代風にアレンジして米  
沢の心のカレーを作りました。

※ひなまつりにあわせて、梅をあしらったメニュー  
です。実際はルーに溶け込んでいます。



南陽市

MAP  
P16-2B

南陽市立  
結城豊太郎  
記念館

展示期間  
平成25年  
2/1 ▶ 3/20  
(金) (水)

住所 南陽市赤湯362

入館料 無料

営業時間 9:00~16:00(入館は16:00まで)

定休日 毎週月曜日(月曜が祝祭日の場合は翌日)

問合せ 0238-43-6802

HP <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/012/yuuki/index.html>



南陽市赤湯出身の元大蔵大臣、第15代日本銀行総裁等を歴任した結城豊太郎先生を記念し、その数々の遺品や文化財等を展示しています。

### 雛人形と雛道具展

南陽市在住の方が所蔵する雛人形、雛道具、雛飾りなどを数多く展示しています。江戸時代の代表的な古今雛を始め、創作雛など、代々受け継がれてきたお雛様。今年はどんな顔がみられるのでしょうか。雛道具の調度品、押し絵、傘福などがご覧いただけます。



### ちょっと足をのばして

#### (有)六味庵

住所:南陽市町塚1601 ☎0238-43-6363  
開店時間:8:00~18:00(木曜午後は休)

☆さくら餅・うぐいす餅・イチゴ大福

1月上旬~雛祭り頃までの期間限定商品



#### (株)萬菊屋

住所:南陽市若狭郷屋728-1 ☎0238-43-2066  
開店時間:8:00~19:00

☆いちごのさくらぶっせ

さくらのリーフパイ

3月~4月いっぱい限定商品

☆量中とクッキーの新食感「なんじよだべ」  
も好評です!

川西町

MAP  
P16-1E

## 玉庭ひなめぐり

玉庭地区交流センター四方山館  
及び玉庭地区の民家

展示期間  
平成25年  
3/23・24  
(土)(日)

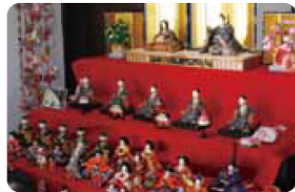
住所 川西町大字玉庭6708-5  
営業時間 9:00~15:30(受付14:00まで)  
受付場所 玉庭地区交流センター四方山館・土礼味庵

入館料 玉庭ひなめぐり協力費  
大人1,500円 小中学生500円  
問合せ 玉庭地区交流センター四方山館  
TEL0238-48-2130



### 玉庭の雛人形

川西町の南部・玉庭地区は、米沢藩・上杉家に仕えた下級武士が多く住んでいた所。先人たちが京都や江戸へ行った際に雛文化を知り、家族のために買い求めた雛飾りを、家の宝として、代々、大切に保存してきました。享保雛や古今雛・相良人形などを、地区交流センターや民家などに飾ります。



#### 期間中のイベント

玉庭地区交流センターほか民家をめぐり、ひな人形はもちろん、屋敷の風情や伝統料理でのおもてなしをゆったりとお楽しみいただけます。次のプランもご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

#### 「タクシーでひなめぐりプラン」

3月23日(土)・24日(日)  
羽前小松駅発着で玉庭ひなめぐり会場をタクシーで巡ります。  
お一人様1,900円

#### 「着物でひなめぐりプラン」

3月24日(日)  
ひなめぐり会場に着付けをして雛の前で記念撮影。その後着物姿でそれぞれの会場を巡ります。  
お一人様1,500円。着物レンタルもあります(着付け・レンタル料として2,000円。定員10名)。

各プランのお問合せ: 川西町観光協会 TEL0238-42-2112

#### ちょっと足をのばして

##### 銘菓の錦屋 P16-2C

住所: 川西町大字上小松1509 ☎0238-42-2636  
開店時間: 8:00~18:30

★「桜道明寺」  
道明寺のお餅に香りの良い桜の葉も一緒にお召し上がり頂けます。105円。  
販売期間: 4月下旬まで  
(期間価格等変わる場合があります)



##### 菓子司 十印 P16-2C

住所: 川西町大字上小松1574 ☎0238-42-3044  
開店時間: 8:30~18:00

★「ひな菓子」  
雛祭りにちなんだ上生菓子です。お雛様、お内裏様を模した練りきり、ももの餅菓子、ひきざりの4点、各210円。  
販売期間: 2月20日から3月3日まで

白鷹町

MAP  
P17-4D

## 荒砥駅資料館

展示期間  
平成25年  
2/1▶4/  
(金) 下旬

住所 白鷹町大字荒砥甲1196-1

入館料 無料

営業時間 10:00~16:00

問合せ 0238-85-2016

定休日 無し



山形鉄道荒砥駅に併設された資料館。季節によってさまざまな展示をしております。

### 白鷹の雛人形

資料館に展示されているのは「膳雛」。その名のとおり、お膳に乗った小さく可愛らしい雛人形が、何膳もお盆に載せられて一面に並べられたその姿は圧巻です。館の中に一対の雛を置いた豪華絢爛な「御殿飾」も展示されています。



白鷹町

MAP  
17P-4C

## あゆ茶屋

展示期間  
平成25年  
2/1▶3/31  
(金) (日)

住所 白鷹町大字下山661-1

入館料 無料

営業時間 10:00~17:00

問合せ 0238-85-5577

定休日 火曜日

HP <http://www.sgic.jp/ayuchaya/>



### あゆ茶屋

日本一の観光ヤナ場がある「あゆ茶屋」。ここでは白鷹のお土産、あゆ料理などを楽しむことができるほか、道の駅も併設されております。12月~3月限定で、山形県産の比内地鶏を使用した「地鶏肉そば」をご提供致します。



### 雛人形

江戸時代、最上川舟運文化によってもたらされた上方文化。その中には享保雛もありました。その可愛で繊細な雛人形をどうぞご覧ください。

#### 特典サービス

「雛籠ひな回廊」ガイドブックをご持参の方で、レストランにて1,000円以上お食事された方はお食事代5%引きいたします。

#### ちょっと足をのばして

##### やまり菓子舗 P17-4D

住所: 白鷹町大字荒砥甲1213 ☎0238-85-2146  
開店時間: 9:00~19:00

★やまりまんじゅう  
大人気の定番商品。全国菓子博覧会金賞受賞のまんじゅうは県内外のファンも多い。



長井市

MAP  
P18-6B

山口家 ※個人宅

展示期間  
平成25年  
3/1 ▶ 3/31  
(金) (日)



ご夫婦の趣味として集めていた雛人形。評判を聞きつけ訪れる方々は年々増え、自宅を開放して展示しています。一面にずらりと並ぶその姿は圧巻です。

奥様自らご案内いたします。

※自宅隣の建物入り口の「雛の宿 幸(さち)」の看板が目印です。

### 古今雛

江戸時代の名工人形師・二代目原舟月(はらしゅうげつ)の手による古今雛は、国内でも数体しかないといわれる、大変希少な一品です。



### 御殿飾り

京都では、内裏雛を飾る館のことを御殿といひ、その中に一対の雛を置く形式を「御殿飾り」と呼びました。京阪を中心に、この様式の雛飾りが登場するのは江戸時代末期のことで、御殿は御所の紫宸殿(しんでん)になぞらえたものと思われる。

### ちょっと足をのばして

#### BRANDORE (ブランドォレ) P18-6C

住所:長井市十日町2丁目18-18  
☎0238-87-0756  
開店時間:月~土曜 10:00~20:00  
日 曜 10:00~17:00  
定休日:第3日曜日(祝日の場合翌日休み)

☆TVチャンピオン準優勝のパティシエが作るおいしいスイーツのお店。

イチゴとあんこにスポンジと生クリームを求肥でくるんだ「いちご大福」は3月初~下旬の限定商品。他、新長井名物「みそべこラスク」や色とりどりのスイーツは売切れ御免。



#### 和菓子司 風林堂 P18-6C

(わかしつかさ ふりんどう)

住所:長井市本町1-3-17 ☎0238-88-2373  
開店時間:9:00~18:30  
定休日:不定休

☆創業明治45年の老舗和菓子店。季節折々の練切上生菓子は芸術的。季節限定の「雛菓子」は練り切り菓子で作られた、バナナ・リンゴ・モモ・サクランボ・メロン・ミカンなどを竹籠に盛り、雛祭り時には2~3日飾って頂きお子様の成長を祈ってお召し上がりください。

住所 長井市舟場25-34

入館料 無料

営業時間 9:00~16:00

問合せ 0238-84-2830

定休日 不定休

必ず事前にお電話にてご予約下さい

### 次郎左衛門雛

丸顔の愛らしさが際立つ次郎左衛門雛は、江戸時代の作。現存する数自体が少ない、貴重な人形です。



### 竹田人形

大阪浪速の竹田座の人形芝居をモデルに作られたといわれる衣裳人形の種類。一体一体が静から動の一瞬を歌舞伎特有の表情で捉えたポーズが特徴です。



### 這子(ほうこ)

平安時代より作られていた人形で、雛の起源のひとつ。幼児の身近に置き、災いをそれに移すといわれたもので、貴族の間では白絹の中に錦を詰め、豪華な衣装を着させたものが用いられました。東北地方でも見られるのは珍しい品です。



### ちょっと足をのばして

#### あやめそば舟越 P18-6C

住所:長井市舟場5-18-2 ☎0238-84-2754  
開店時間:11:00~14:30, 17:30~20:00  
定休日:月曜日

☆「蕎そば」は以下の2種類。①は通年、②期間限定

①鶏そば・天ざるセット(1,000円)…温かいミニ鶏そばとミニ天ざるそばのセット  
②紅切り・さくらセット(1,200円)…米粉に紅花を練り込んだ冷たい紅きりと長井名物馬肉が入った温かい玄米うどんのセット。1日10食限定。

1月下旬~3月中旬には店内にもお雛様を展示予定。



#### 創業処 日進堂 P18-6B

(そうかどころ にっしんどう)

住所:長井市成田1667 ☎0238-88-2477  
開店時間:8:00~19:00  
定休日:不定休

2~4月迄の期間限定で発売される名物「桜ロール」。塩漬けの桜の花びらと葉っぱを刻んで生地練り込まれスポンジはほんのり桜色。中には首傾かしいバタークリームが練り込まれている。1個126円、ロール500円(各税込)。他にも手作りの和菓子が数多く並んでいます。

# 米沢市 MAP







## 山形県内その他地域のお雛さま

### もがみ雛めぐり

最上地方の雛まつりは、月遅れの4月3日に行われます。各家庭では家中の雛や人形などを飾り、その周りに錦絵を飾るという独特の風習があります。新庄ふるさと歴史センターの国内最大級の享保雛を始め、金山町の旧家や肘折温泉などに伝わる古雛をぜひご覧ください。

### 新庄市 新庄ふるさと歴史センター

期間：1/26(土)～4/3(水) 9:00～16:00  
 定休日：火曜日、祝日の翌日  
 料金：大人300円・高校生100円・小中学生50円  
 (団体料金有り)

所在地：新庄市堀端町4-74  
 問合せ：0233-22-2188



■お問い合わせ先  
 最上地域観光協議会 (山形県最上総合支庁観光振興室内)  
 TEL0233-29-1312 FAX0233-23-2628 <http://kanko-mogami.jp/>

### 庄内ひな街道

庄内地方に古くから大切に受け継がれてきたお雛さま。その優雅な微笑みは、北国の春待つ心を映し出すかのように、皆様のお越しをお待ちしています。周遊バスは乗り降り自由、一日乗り放題ですので、存分にお楽しみください。

### “庄内ひな街道”周遊バス

期間：3/1(金)～3/31(日)  
 料金：大人1,000円(中学生以上)  
 小人500円(小学生)

■お問い合わせ先  
 庄内交通観光バス0235-22-0444  
 企画：庄内観光コンベンション協会



■主なコース 本間美術館→相馬樓・山王くらぶ→本間家旧本邸→山居倉庫→致道博物館→荘内神社「宝物殿」→旧風間家住宅「丙甲堂」

### やまがた雛のみち

最上川舟運による紅花等の取引をした商人が、京や江戸から多くの「雛人形」を持ち帰り、現在も旧家を中心に300年以上にわたり受け継がれています。これらの雛人形は、村山地域の全ての14市町で毎年1月～4月にかけて公開され「やまがた雛のみち」としてキャンペーンを展開しています。また、やまがたが誇る冬の桜「啓翁桜」を一部の雛公開施設に展示し、一足早い春を演出するほか、特産品が当たるスタンプラリーも開催します。

■お問い合わせ先  
 やまがた広域観光協議会  
 電話023-621-8441(山形県村山総合支庁観光振興室内)

